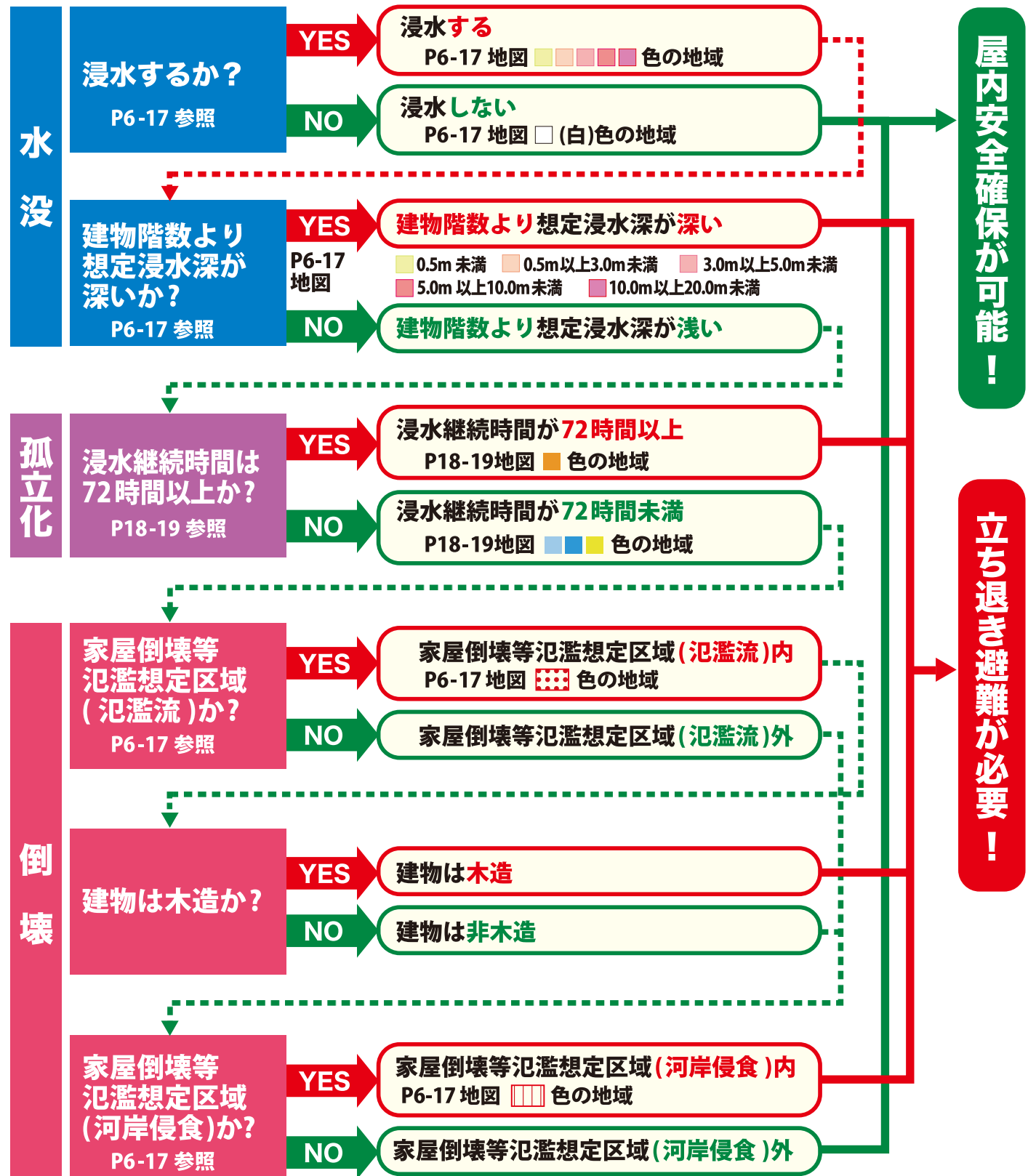


逃げ時チャート

洪水時には、水没だけでなく、孤立化、避難所等の倒壊といった様々な問題に注意する必要があります。P6-19に掲載したハザードマップを確認し、自分の家でのいざという時の行動方針を確認しておきましょう。しかしながら、これはあくまで想定された1つの例であり、実際の洪水がこの通りに発生するとは限りません。気象情報、水位情報、避難情報や周囲の状況などに注意をはらって、**ご自身で判断し行動してください。**



円滑な避難をするために

台風などの風水害はあらかじめ予測できる災害です。災害から身を守るためには必要な情報・行動を事前に確認しておきましょう。自分が危ないと思った時が避難のタイミングです。受け身にならず積極的な情報収集及び避難行動をとりましょう。

台風発生

かなり大型の台風みたいだ。うちは川が近くだから心配だな。

台風に備えて、事前にやるべきことを確認しておこう。

台風接近

このままじゃ、台風が直撃だな、自主避難も考えなくてはな。

「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された。まだ、雨は強く降ってないし、うちはおじいちゃんもいるし、いまのうちに避難を開始しよう。

無事、避難できてよかった。町内では、川のはん濫や土砂災害が発生しているみたいだな。

台風直撃

行動のポイント

- テレビなどで天気予報を確認
- インターネットで気象情報を収集
 - ※気象庁のホームページより大雨、洪水、土砂災害について地域の危険度を確認できます。
<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
- ハザードマップで避難所等、避難経路を確認
- 防災グッズや家族の必要な物を準備(不足があれば買い出しへ)
- 家族全員の今後の予定を確認(遠出する予定がある場合はキャンセルも検討)
- 非常持出袋の準備
- 自宅の浸水しそうな所には土のうを設置
- 家の周りの側溝の清掃
- 家の周りにある風で飛ばされそうなものは片付ける
- 1階が浸水するおそれがある場合は家財を2階に上げる
- 携帯電話の充電
- テレビ、インターネットで河川の水位情報や気象情報に注意
- 町からの避難情報に注意
- 浸水や土砂災害が想定されない場所に避難を開始
- 避難先でも、ラジオや携帯電話から情報収集